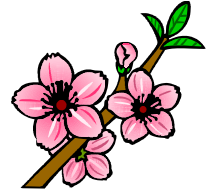




昼間の時間がだいぶ長くなり、桜の花もヤマザクラからソメイヨシノに変わってきます。道路脇にはスミレやタンポポの花が見られるようになりました。あちこちの田んぼでは田植えが終わり、市木にも春がやってきました。



平成23年度を振り返って

市木小学校校長 上園 昭智

東日本大震災から1年たちましたが、まだ日本各地に大きな傷跡が残り、多くの人々が大変な苦勞を強いられていることを改めて感じる日々が続いています。

このような中、市木小学校では保護者の皆様や地域の皆様のご支援・ご協力のおかげで大きな事件、事故もなく無事に1年が過ぎようとしています。

子どもたちもこの一年でずいぶんと成長しました。

自信をもって自分の意見を堂々と言える子を目指し、表現力の向上に取り組んできましたが、授業や行事ではもちろんのこと、休み時間などでも臆せず話ができる児童が育ってきています。また、雨が多い年で、多くの行事が延期や内容の変更を余儀なくされましたが、何とかねらいを達成することができました。このような子どもたちの成長の背景には、学校の努力だけでなくご家庭や地域の皆様のご理解と温かい励まし、協力があったからこそです。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

23日には6年生の5名が卒業し、そのうち1名が県外へ転校、4名が市木中学校へ進学ということで、それぞれの子どもたちが新たな出発をします。そして、4月には6名の子どもたちが入学し、児童数が現在より1名多くなり21名で新学期を迎えることになりそうです。来年度も、元気よく、生き生きとした学校づくりを目指していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

卒業おめでとう！爽やかに羽ばたけ！

**5人の卒業生です。どんな未来をつくってくれるのでしょうか。
楽しみです。持てる力を精一杯発揮してほしいと願っています。**



お別れ遠足

3月2日（金）にふるさと市木を知るためのお別れ遠足をしました。

朝早く古都から宮交のバスに乗り、贅波まで行きました。贅波の集会場から全校で歩いて市木小学校を目指す新しい企画の遠足でした。距離はおよそ10kmで、日頃歩くことのない「南郷道の駅」の前や「亜熱帯作物試場」の下のトンネル、「夫婦浦」から「舢」「藤」を通るコースでした。途中で激しい雨に遭い、藤の入口のところから学校に自動車で移動しましたが、約7kmは歩くことができました。

学校に戻った後は、濡れた服を乾かしたり自分で作ったお弁当を食べたりみんなでゲームをしたりしました。雨のために途中で予定が変わりましたが、校区内を自分たちで歩き、今まで知らなかった市木を知ることができた遠足になったと思います。

「舢」と「藤」の自治会長さんには、集会場のトイレを借りるためにいろいろお世話になりました。ありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。



【夫婦浦の港のそばで】



【みんなでならんで歩きました】

交通安全感謝の集い

3月17日（木）に市木小学校の児童のために見守り、見回り活動をされている方をお呼びして、感謝の集いを行いました。

- ・支所前で交通指導をされている交通指導員の「山口哲次」さん

- ・自宅近くで朝、夕、子どもたちへの声かけをされている「獺越智子」さん

の2人です。いつも子どもたちを見守って下さっている「橋口」さんとスクールガードの「阪元」さんは、お誘いしたのですが当日都合がつかず欠席でした。

子どもたちと一緒に給食を食べた後、似顔絵や感謝の色紙をプレゼントしました。

2人ともたいへん喜んでいただきました。

たくさんお方のご厚意で、登下校の安全が守られていることを子どもたちも職員も改めて感じた企画でした。いつもありがとうございます。



【一緒に給食を食べました】



【感謝の気持ちを贈ります】

3月、4月の行事予定

【3月】

23日（金）卒業式

26日（月）修了式

29日（木）離任式

【4月】

9日（月）始業式

17日（火）PTA 総会（19:30～）

18日（水）家庭訪問（郡司部・海北）

19日（木）家庭訪問（堀以外の地区）

23日（月）参観日

